

令和5(2023)年度東京大学大学院 工学系研究科博士後期課程学生募集要項

・新型コロナウイルス感染症等の影響により、本募集要項の内容を変更する場合は、本研究科 Web サイトで公表しますので、随時確認してください。

(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general-guideline>)

・「6. 専攻別試験科目及び募集人員」の【出願日程B】の欄に募集人員の記載が無い専攻についても、【出願日程B】(冬入試)での募集を実施する場合があります。実施の有無については、10月1日頃に上記 Web サイトで告知します。

教育研究上の目的

本研究科は、豊かな教養に裏付けられた、科学技術に対する体系的な知識と工学的な思考方法を身につけ、工学とその活用に係わる研究、開発、計画、設計、生産、経営、政策提案などを、責任を持って担うことのできる人材を育成し、未踏分野の開拓や新たな技術革新に繋がる研究へと果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

求める学生像

- 1) 本研究科の教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
- 2) 多様な文化を理解尊重し人類社会に対して国際的に貢献することを目指す人
- 3) 健全な倫理観と責任感を備え、強い意欲を持って学ぼうとする人

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

本研究科は、その教育研究上の目的に沿って、人材を育成します。博士課程は、研究や国際的な活動を通して、専攻する分野における世界トップレベルの高度な専門性や幅広い知識を身につけ、工学的・論理的な高度な思考力・創造性を磨き、課題設定能力・問題解決能力を有する人物となることを要求しています。さらに、国際的なリーダーシップを発揮することができ、研究成果の国際的な発信能力、国際的なコミュニケーション能力を有し、高い倫理観・責任感を有することを要求しています。

入学者選抜においては以下の点が問われます。

- ・志望分野において高度な専門性を身につけ、工学的な深い思考力を有していること。
- ・問題を発見して、それを創造的に解決・展開する資質を有していること。
- ・国際的なコミュニケーション能力を有しており、それによる研究成果の発信ができること。

1. 出願資格

- (1) 日本の大学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和5(2023)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者(注1)(注5)
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び令和5(2023)年3月31日までに授与される見込みの者(注5)
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5(2023)年3月31日までに授与される見込みの者(注2)(注5)

- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5(2023)年3月31日までに授与される見込みの者(注5)
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5(2023)年3月31日までに授与される見込みの者(注5)
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び令和5(2023)年3月31日までに合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注3)(注5)
- (7) 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び令和5(2023)年3月31日までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注1)(注2)(注3)(注5)
- (8) 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、令和5(2023)年3月31日において24歳に達しているもの(注4)(注5)

(注1) 上記(1)、(7)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2) 上記(3)、(7)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) 上記(6)又は(7)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、事前に出願資格及び提出書類等を確認の上、下記期日までに工学系研究科学務課大学院チーム(11.問合せ・連絡先 参照)に提出すること。

出願日程A：令和4(2022)年5月24日(火)

出願日程B：令和4(2022)年10月26日(水)

(注4) ①上記(8)に該当する者とは、上記(1)から(7)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者を示す。

②上記(8)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、事前に出願資格及び提出書類等を確認の上、下記期日までに工学系研究科学務課大学院チーム(11.問合せ・連絡先 参照)に提出すること。

出願日程A：令和4(2022)年5月24日(火)

出願日程B：令和4(2022)年10月26日(水)

③入学資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

(注5) 令和4(2022)年10月1日付け入学希望者の場合、上記(1)から(8)における「令和5(2023)年3月31日」については、「令和4(2022)年9月30日」に読み替えるものとする。

2. 社会人受入れ

(1) 各専攻において、社会人を受け入れる。

(2) 教育・研究機関、会社等に正規職員として在職している者が、入学後もその身分を有したまま、在学することができる。

(3) 選抜に当たっては、修士の学位論文又はこれに代わる研究業績等を勘案する。

3. 出願方法

受付期間は、下記(3)のとおり出願日程A及び出願日程Bの2通りに区分する。

ただし、専攻によっては出願日程Bを実施しない場合があるので、事前に志望専攻の専攻事務室へ確認すること。なお、それぞれの受付期間に両方出願することは妨げないが、令和4(2022)年10月入学を希望するものは、出願日程Aによる。

(1) 入学願書等はWEB出願システムにて作成すること。

(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general-guideline>)

(2) 出願はオンラインに限る。詳細は、本研究科Webサイトで確認すること。

(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general-guideline>)

(3) 受付(アップロード)期間

出願日程A：令和4(2022)年6月30日(木)から7月6日(水)午後3時(日本時間)

出願日程B：令和4(2022)年11月17日(木)から11月22日(火)午後3時(日本時間)

*ただし、「提出書類等」のうち「その他」については、提出の期間や方法が異なる場合があるため、志望専攻の「専攻入試案内」を参照すること。

4. 試験期日及び場所

(1) 出願日程A

出願日程Aの第1次試験は、令和4(2022)年8月29日(月)から9月2日(金)の5日間に行う。

時間割及び試験場については、志望専攻の「専攻入試案内」を参照すること。

一般教育科目(一般学術)の筆記試験は、原則として、試験会場(東京大学本郷キャンパス)で実施する。

また、第2次試験は、令和5(2023)年1月下旬から2月中旬に行う。試験期日、時間割及び試験場については、令和5(2023)年1月上旬頃までに対象者に通知する。

ただし、次のいずれかに該当する者に対する第2次試験は、令和4(2022)年8月29日(月)から9月2日(金)の5日間に行う。

① 修士の学位又は専門職学位を出願時に既に取得済み又は令和4(2022)年9月30日までに取得する見込みの者(注)

② 令和4(2022)年10月入学希望者

注) 上記①に該当する者でも、受験者によっては、第2次試験を1月下旬から2月中旬に行う場合があるので、志望専攻の「専攻入試案内」又は受験票交付時の通知を確認すること。

(2) 出願日程B

出願日程Bの第1次試験及び第2次試験は、令和4(2022)年12月中旬から令和5(2023)年1月上旬、又は令和5(2023)年1月下旬から2月中旬に行う。志望専攻の「専攻入試案内」を確認すること。各専攻の試験期日等は、令和4(2022)年12月の受験票交付時に通知する。

5. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、第1次試験及び第2次試験による。
- (2) 第1次試験における選抜は、筆記試験、口述試験及び提出書類による。
- (3) 専攻によっては、第1次試験における選抜において提出書類による書類選考を行い、書類選考の合格者のみを対象として筆記試験、口述試験等を行う場合がある。なお、書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。詳細は志望専攻の「専攻入試案内」等により確認すること。
- (4) 第2次試験においては、修士の学位論文又はこれに代わるものについての試験を行う。上記の第2次試験は、第1次試験の合格者のみについて行う。
- (5) 筆記試験、口述試験、提出書類及び修士の学位論文等を総合的に判定し、選抜する。

6. 専攻別試験科目及び募集人員（出願日程A）

出願日程Bの試験科目については、志望専攻の「専攻入試案内」等を参照すること。

専攻名	筆記試験科目		外国語（英語）		募集人員 出願 日程 A	募集人員 出願 日程 B
	一般学術	専門学術				
社会基盤学	なし	※4 社会基盤学	※2	※6 TOEFL スコアの提出	24名	—
建築学	なし	※4 建築関係科目	※2	※6 TOEFL, IELTS, TOEIC L&R いず れかのスコアの提 出	16名	—
都市工学	なし	※4 都市工学関係科目	※3	※6 TOEFL スコアの提出	11名	—
機械工学	なし	※4 各自の専門分野に 関連する学術	※2	※6 TOEFL スコアの提出	25名	若干名
精密工学	なし	※4 精密工学	※3	※6 TOEFL スコアの提出	12名	若干名
システム創成学	なし	※4 システム創成学関連 科目	※3	※6 TOEFL スコアの提出	19名	—
航空宇宙工学	※2※5 ※8 数学	※4 航空宇宙工学	※2	※6 TOEFL スコアの提出	18名	—

電気系工学	なし	※4 電気電子工学・情報工学	※2 ※4	※6 TOEFLスコアの提出	32名	若干名
物理工学	なし	※4 物理学	※3	※6 TOEFLスコアの提出	19名	—
マテリアル工学	なし	※1、※4 マテリアル工学基礎	※2	※6 TOEFLスコアの提出	20名	—
応用化学	なし	※4 専門学術に関する試験	※3	※6 TOEFLスコアの提出	13名	若干名
化学システム工学	なし	※4 専門科目及び専門学術に関する試験	※3	※6 TOEFLスコアの提出	13名	若干名
化学生命工学	なし	※4 各自の専門分野に関する学術試験	※3	※4 専攻独自の英語試験を課し、TOEFLは使わない	13名	—
先端学際工学	なし	なし	※3	※6、※7 一般コース： TOEFLスコアの提出 先端科学技術イノベーターコース： TOEIC L&Rスコアの提出	46名	若干名
原子力国際	なし	※4 専門学術に関する試験	※3	※6 TOEFLスコアの提出	11名	—
バイオエンジニアリング	※3、※9 数学・物理学・化学から選択	なし	※3	※6 TOEFLまたはIELTS Academicのスコアの提出・上記のうちTOEFLを推奨する	12名	—
技術経営戦略学	なし	※1、※4 技術経営戦略学に関する学術	※3	※6 TOEFLスコアの提出	8名	—

計 312 名

- ※1 当該専攻修士課程を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略する。
- ※2 本研究科修士課程を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略する。
- ※3 本学大学院修士課程又は専門職学位課程を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略する。
- ※4 この試験科目及び口述試験の詳細は、志望専攻の「専攻入試案内」で確認すること。
- ※5 この試験科目の出題分野については、別紙「一般教育科目の出題分野」を参照すること。
- ※6 大学院入学試験場で TOEFL ITP は実施しない。TOEFL スコアの提出に関する詳細は、別紙「令和 5(2023)年度 東京大学大学院工学系研究科大学院入学試験外国語(英語)試験に関するお知らせ」(TOEFL スコア提出)、及び

「専攻入試案内」を参照すること。TOEFL 以外のスコアの提出に関する詳細は、「専攻入試案内」を参照すること。

※7 TOEIC Listening & Reading 公開テスト公式スコアの提出に関する詳細は、「専攻入試案内」を参照すること。

※8 オンライン実施となった場合には専攻独自の出題とする場合がある。

※9 出願時に受験する科目を選択する。詳細については、「専攻入試案内」を参照すること。

7. 提出書類等

出願日程 A 及び出願日程 B 共通

書類等	提出者	摘要
入学願書	全員	<p>WEB出願システムに必要事項を正確に入力すること。</p> <p>入試に関する連絡はメールで行うので、必ず連絡のとれるメールアドレスを記載すること。</p> <p>WEB出願システムの指示に従い、<u>顔写真データ(上半身脱帽、正面向き、出願前3ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの)</u>をアップロードすること。顔写真データの形式は、特に問わない。</p> <p>なお、顔写真データは、試験実施の際の本人確認に使用する他、学生証作成の際にも使用する。</p>
検定料	<p>全員</p> <p>[<u>本学において令和 5(2023)年 3 月に(10 月入学希望者については令和 4(2022)年 9 月に)修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者及び日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く。ただし、本学に在学中(研究生を含む)の者以外は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書(奨学金受給期間の入ったもの)を提出すること。</u>]</p>	<p>30,000円</p> <p>銀行振込、コンビニエンスストア、ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行、中国決済又はクレジットカードでの払込に限る。いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。</p> <p>銀行振込の場合、WEB出願システムから出力した検定料振込依頼書を用いて、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局不可)から振り込むこと(ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネット等は利用しないこと)。振込方法等の詳細は、WEB出願システムから出力した検定料振込依頼書及び注意書を参照すること。</p> <p>また、コンビニエンスストア、ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行、中国決済又はクレジットカードでの払込の場合の手順や注意事項については、別紙「東京大学大学院工学系研究科検定料払込方法」を参照すること。</p>
出身大学院の 修了証明書	<p>既修了者(出願時に既に修士の学位を取得している者)</p> <p>[<u>本研究科修士課程又は専門職学位課程修了者を除く。</u>]</p>	<p>1)成績証明書に、修了年月日が記載されている場合は不要。</p> <p>2)出身大学院が発行したもの(公印入り)で、学位が明記されていること。</p> <p>3)出願資格(2)の者は、大学改革支援・学位授与機構が作成した学位授与証明書を提出すること。</p> <p>4)原本の写し(PDF)をアップロードすること。合格した場合、入学時に原本を確認する。</p>

出身大学及び出身大学院の成績証明書	全員 [本研究科修了(見込)者を除く。]	1) 出身大学及び出身大学院が発行したもの(公印入り)で、学部(教養課程を含む)及び修士課程(博士前期課程)又は専門職学位課程の成績を証明するもの。 2) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。 3) 原本の写し(PDF)をアップロードすること。合格した場合、入学時に原本を確認する。
研究計画書	官公庁在職者で、在職のまま在学を希望する者	A4サイズ任意用紙4枚程度にまとめたもの。
安全保障輸出管理チェックシート	日本国籍以外の者	WEB 出願システムに必要な事項を正確に入力し作成すること。
その他	該当者	専攻によっては、上記以外の書類を提出させることがある。志望専攻の「専攻入試案内」を参照すること。

(注1) 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書、文書、資料等には、すべて日本語訳又は英語訳を添付すること。

8. 合格者の発表及び入学手続

(1) 出願日程 A

① 出願日程 A の合格者及び第1次試験合格者は、令和4(2022)年9月8日(木)午後4時頃、本研究科Webサイトに掲載する。<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe>

また、出願日程 A における第2次試験対象者の合格者は、令和5(2023)年2月9日(木)午後4時頃、本研究科Webサイト(上記参照)に掲載する。

② 出願日程 A の入学許可は、以下の予定で本人あてに通知する。

- ・ 令和4(2022)年10月入学許可者

日本国籍の者：令和4(2022)年9月中に通知する。

日本国籍以外の者：「東京大学安全保障輸出管理」の審査完了後に通知する。

- ・ 令和5(2023)年4月入学許可者

日本国籍の者：令和5(2023)年2月に通知する。ただし、令和4(2022)年9月発表の合格者については、令和4(2022)年11月に通知する。

日本国籍以外の者：

令和4(2022)年11月以降、「東京大学安全保障輸出管理」の審査完了後に通知する。

(2) 出願日程 B

① 出願日程 B の合格者は、令和5(2023)年1月12日(木)、又は2月9日(木)の各日午後4時頃、本研究科Webサイトに掲載する。<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html>

志望専攻の「専攻入試案内」を確認すること。

② 出願日程 B の入学許可は、合格者の発表後、本人あてに通知する。

(3) 令和5(2023)年4月入学許可の通知を受けた者は、その際送付される入学手続に関する指示に従い、令和5(2023)年3月8日(水)(予定)までに必要な入学手続を行うこと。また、令和4(2022)年10月入学許可の通知を受けた者は、同様に、令和4(2022)年9月21日(水)(予定)までに必要な入学手続を行うこと。期日までに入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(4) 電話、FAX、メール等による合否についての照会には、一切応じない。

(5) 入学時に必要な経費(令和5(2023)年度予定額)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては入学料、授業料を徴収しない。また、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程の修了見込み者に対しては入学料を徴収しない。)

① 入学料 282,000円(予定額)

② 授業料 前期分 260,400円(年額520,800円)(予定額)

注) 上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

9. 注意事項

(1) 本研究科の同一日程(出願日程A又は出願日程B)の入学試験においては、同時に2つ以上の専攻に出願することはできない。

なお、本研究科の出願日程Aの第1次試験に既に合格している者は、合格を辞退することなく、出願日程Bに出願することはできない。

また、他大学及び本学他研究科(教育部を含む)と重複して入学することはできない。

(2) 提出期日までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、また、書類の返却はしない。

(3) 受験票は、オンラインで交付する。詳細は出願時に願書に入力されたメールアドレスに連絡する。なお、次の期日までに受験票に関するメールが届かない場合は、工学系研究科学務課大学院チーム(11. 問合せ・連絡先 参照)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。

出願日程A：令和4(2022)年8月8日(月)

出願日程B：令和4(2022)年12月13日(火)

(4) 社会人で在職の身分のままで入学を希望する者は、入学手続きの際に、「在職のまま大学院に入学することに支障はない」旨の勤務先の承諾書(様式任意。証明者は上長であれば役職は問わない。)を提出すること。

(5) 本研究科では、令和5(2023)年4月入学のほかに専攻によっては、令和4(2022)年10月入学を認めることがある。詳細は志望専攻の「専攻入試案内」で確認すること。

(6) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は、出願前に工学系研究科学務課大学院チーム(11. 問合せ・連絡先 参照)及び志望専攻の専攻事務室に申し出ること。

(7) 外国人は、入学手続時までに、「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。

(8) 事情によっては、出願手続、試験の方法、試験期日等について変更することもある。

(9) 納入された検定料は、どのような事情があっても、払い戻しはしない。

(10) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。

(11) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

(12) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。

(13) 災害等により不測の事態が発生した場合、入試に関する情報提供は本研究科 Web サイト等で行うので注意すること。

10. 不正行為に対する対応

出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、ならびに試験において不正行為があったことを示す明確な証拠が出てきた場合は、合格後、及び入学後においても遡って合格、及び入学を取り消すことがある。

11. 問合せ・連絡先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム

Eメール daigakuin.t@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

電話 03(5841)6038、7747（平日 9:00～17:00※土日祝日を除く）

令和 4(2022)年 5 月

東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理支援室Webサイトを参照してください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>

令和 5 (2023) 年度東京大学大学院工学系研究科 大学院入学試験外国語 (英語) 試験について (TOEFL スコア提出) (博士課程【出願日程 B】)

- ◆受験日 (Test Date) が 2021 年 2 月以降のスコアを有効とします。
- ◆大学院入試の出願期限に間に合うように、早めに TOEFL テストを受験し、各自で点数を確認のうえ、出願時に提出スコアの Appointment Number を登録してください。
- ◆スコアの提出期限は、専攻によって異なります。志望する専攻の入試案内を確認してください。

〔TOEFL スコアの提出方法〕

- TOEFL iBT/ TOEFL iBT Home Edition の公式スコアが有効です。TOEFL の受験申し込み方法、及び TOEFL iBT Home Edition の使用機器・受験環境は、ETS の Web サイトで各自確認してください。
- TOEFL の受験を申し込む際に、以下の送付先へ公式スコアレポートの送付を請求してください。既に受験済みのスコアを提出する場合も、以下の送付先へ公式スコアレポートの送付を請求してください。公式スコアレポート送付の請求方法は、ETS の Web サイトで各自確認してください。

TOEFL 公式スコア送付先 ・このコード以外で送付されたものは確認することができません。
DI (Designated Institution) コード : "8596" (University of Tokyo Engineering)
Department コード : "99" (Any Department Not Listed)

- 出願時に「WEB 出願システム」から、提出するスコアの Appointment Number、受験日を登録 (入力) してください。
- 公式スコアレポートを複数回、送付することは可能です。その場合、出願時に提出するスコアを 1 つだけ決めて、Appointment Number、受験日を登録 (入力) してください。
- 本研究科では、出願時に登録 (入力) されたスコアを ETS のオンライン上で確認します。ETS では、公式スコアレポートの送付手続きが正しく完了し、試験自体にも問題がなかった場合は、受験後約 2 週間程度で当研究科でオンライン上のスコアデータを確認することができますとしています。
- オンライン上でスコアデータが確認できた時点でスコアが提出されたものとするため、スコアレポートが提出期限内に郵送で届いていなくても問題はありませぬ。

〔注意事項〕

- 受験者控 (Test Taker Score Report) の提出は不要です。
- 提出する TOEFL スコアの出願後の変更は原則認めません。
- 機械トラブル等の主催者側の理由により、再試験になったり、スコアの開示が遅れるケースがありますので、十分な日程の余裕を持って受験をしてください。
- ETS の Web サイトの情報を確認し、期限までに到着するよう十分な日程の余裕を持ってスコアを送付してください。
- 本研究科では、Test Date Scores を採用します。MyBest™ scores は採用いたしません。
- TOEFL ITP Plus for China のスコア提出も認めます。TOEFL ITP Plus for China のスコアを提出する場合は、ご自身の Vericant アカウントに通知されるスコアのコピーを大学院入学試験の出願書類とともに提出してください。また、Vericant 社の学生ポータルサイトにある "Send to Schools" のページから、本研究科 (The University of Tokyo (Engineering)) をデータ受取人に指定してください。

2022 年 10 月
東京大学大学院工学系研究科